

ハイチに関する閣僚級会合：武井副大臣メッセージ (和文)

おはようございます。

日本国外務副大臣の武井俊輔です。まず、今回の閣僚級会合に当たり、ジョリー外相を始め関係者の皆様に御礼申し上げますとともに、今般のハイチにおける洪水及び地震被害に対し、心からお見舞いを申し上げます。また、出張日程の関係で、ビデオ参加となることをお許しください。

日本は、G7議長国及び安保理理事国、また、ハイチの長年のパートナーとして、ハイチの治安情勢・人道状況の改善に向けて積極的に貢献して行く考えです。

G7広島サミットの首脳コミュニケにおいても、ハイチの治安・人道上のニーズに応えるため、中南米のパートナー及びその他の主体との連携を強化するとのコミットメントを改めて表明したところです。

ハイチの安定化のためには、国連を含めた、国際社会の緊密な連携と協働が欠かせません。我が国は安保理において、本年7月の国連ハイチ統合事務所のマンデート更新を後押しするとともに、武装集団に対する制裁対象追加の議論を含め、ハイチの平和と安全に向けて引き続き貢献していきます。

また、我が国は、昨年秋以降の治安情勢の悪化を受け、新たに、ハイチ国家警察支援のため約300万ドルをバスケット・ファンドに拠出することといたしました。また、悪化する人道状況を踏まえ、コレラ対策のための緊急無償資金協力や食糧援助も実施中です。

ハイチの中長期的な安定のためには、自由で、公平で、透明性のある選挙実施を通じた政治情勢の正常化が不可欠です。ハイチ政府による包括的な政治合意達成に向けた取組を賞賛しつつ、各政治グループ間の対話促進による、早期の選挙実施を支持します。

終わりに、本会合での議論を通じ、ハイチのみならず地域全体の平和・安定のための協力が一層強化されることを期待します。

ありがとうございました。